



代表取締役  
**立石裕明氏**

資本金/5775万円  
住所/兵庫県淡路市大谷915-4

**(株)アテナホテルズ**  
アテナ淡路、アテナ仙台(2008年春オープン)

**スポーツホテルで地域再生**

かつてない再生事業、アテナプロジェクト。このプロジェクトは、スポーツを通じて地方の遊休施設やホテル、旅館を再生させ、地域を活性化させることを目的として生まれました。

阪神淡路大震災、SARS騒動、台風による水害など、度重なる逆境の中からの再出発でした。

大きな転機となったのは、2002年の日韓ワールドカップでのイングラウンドキャンプでした。これを立ち上げた者としての重責と興奮は今でも鮮明に覚えています。

大きな宴として、ベッカム効果は絶大でしたが、もつとも大事なことは、「宴は終わる」ということです。最重要課題は、「宴の後」でした。

大規模大会の為に作った施設がその後、殆ど使われずにいる現実を様々な地域で見えました。彼らが練習した、このサッカー場(現兵庫県立淡路佐野運動公園)をそんな施設にははいけ

ないという強い思いでした。

あらゆる角度からマーケットニーズや問題点を探し出し、地域と連携し、それら諸問題を解決していきました。

その結果、現在では驚異の稼働率を誇る運動公園となり、その影響で他の施設の利用者も増大し、多くの方々に喜んで頂けています。ひいてはそれが、交流人口の増加、地域経済活性化へと広がっていきました。

大事なことは、ハード部分としての、スポーツ及び宿泊施設の環境整備は勿論ですが、我々ホテル側のソフト面の充実がもつとも重要だということです。皮肉なことですが、震災以降、合宿・大会宿泊の方々が主たるお客様でしたので、強いチームやそうでないチーム、合宿目的の違い等々、あらゆる部分においてそのニーズを実体験として学んでいました。それらを検証し、マニュアル化しブラッシュアップすることを繰り返しました。大事なことは、

合宿所、研修所ではなく、あくまでもホテルであることです。

その結果得られたハード、ソフトを踏まえて、2006年7月「スポーツホテル・アテナ淡路」は誕生しました。目指すのは、アスリートニーズにお応えする、サービスとホスピタリティの提供です。

高さ15mと日本最大のクライミングウォール、収容性を兼ね備えたアスリートの為の機能的客室、大型コインランドリー、フィットネスコーナー、必勝祈願神社等々を備え、スポーツ栄養学の観点からアスリートミールプログラム(アスリートカレー、プロテインヌードル、補食システム等々)でお迎えします。

2008年春には、2号店となる「アテナ仙台」を東北最大級のフットサルコート「ワッセ仙台」内にオープンする予定です。フットサル、アクションサッカー、屋内テニスコート、スポーツバー等々を備え、あらゆるアスリートニーズにお応えします。

また、昨今のダイエット、メタボリックシンドローム対策需要に向けて、「スポーツホテルでダイエット!」をキーワードに、ウォーキング、自転車、ダイエットミールプログラムで、女性客は勿論のこと、より多くのお客様のニーズにお手軽価格で提供します。

「スポーツ選手のセカンドキャリア」。社会問題化してきた、スポーツ選手の

セカンドキャリアにも対応すべく、元スポーツ選手の雇用促進にも努めています。ホテルマンをアスリートにするのではなく、スポーツニーズを経験則として知っているアスリートをホテルマンにし、採用していきます。

アテナ淡路には温泉はありませんし、島という立地から考えても交通の便が良いとはいえません。しかし、目的来店性や、売る切り口を変え、選択と集中をすることでここまで来ました。

今後は、ホテル業として全国初、経済産業省、厚生労働省認定、新連携及び、地域資源活用促進プロジェクトとして、地域再生事業に取り組んでいきます。

アテナプロジェクトが、再生事業として全国の方々の一助になればと思っています。

「スポーツホテル」という言葉が、辞書に載る日を夢見て。

